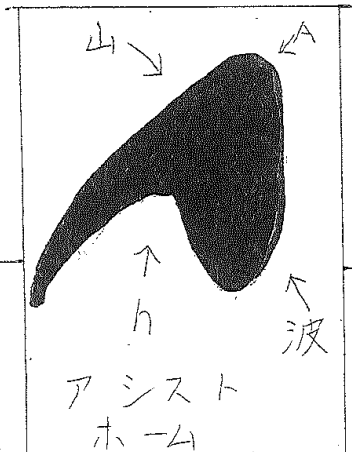
アシスト新聞

発行日 11月24日

アシストホームのマークの意味は？

皆さんは、アシストホームのマークを知っていますか。マークとは左下にあるマークのことです。このマークにはしっかりと意味があります。このマークには、ヨットの帆をイメージして作られたそうです。上は山下は波と自然をモチーフにして作られていることがわかります。宮寺さんの話によると葉山をモチーフにしたと言っていました。マークの上側は少しずつ上がって、最後には山の形になっており、下側は、反対から見ると左側が大きい波に見えて右側が海になっています。しかもアシストホームのホームのH。葉山の頭文字のHは葉山で働いているのと葉山が大好きだからHに似たような形にしたそうです。アシストホームのロゴはさまざまな物からできていて特に自然をモチーフにしてマークを作っていました。マークも葉山の自然の形にある物で表して海の波、自然の山、の2つの特徴が生かされていて葉山の会社とわかる印です。アシストホームのロゴには、隠れている意味があります。アシストホームは葉山のヒーローです。



社説

宮寺逸雄先生の話を伺って建築業に携わることは、大変だがやりがいのあることだと感じました。また、建築はただ建物を建てるだけでなく、ちゃっかり計算やお客さんの要望に答えられるよう、日々努力していることが分かりました。また、建築業の理想は笑顔を繋げる建築をするということが分かりました。

ほかにも、このような質問がありました。「工事中の大けが」「仕事の息抜き」「今までで一番大変だった仕事」「なぜこの職業に就こうとしたのか」「建築士は理数が上手か」などをインタビューしました。

今回の職業インタビューを通して、建築に関わっている人達の努力と苦労を感じることができました。

建築士の服装&必需品

みなさんは建築業に携わるうえでの服装や必需品を知っていますか。この記事では建築業で携わるうえでの服装や必需品について話していこうと思います。

建築士は基本Tシャツで仕事しています。

また、建築現場などに行くときは作業着とヘルメットを着用して仕事をしています。

次に仕事をするうえでの必需品について紹介していきます。建築業に携わるならまず、メジャーや水平器などの昔から必要とされてきている機器も使っていると伺いました。しかし今の建築業界は進化し続けているということがわかりました。

今の建築士のほとんどはIPad（アイパッド）を使っていると伺いました。最近では建築士をやるうえで一番といっていいほど大事な設計図もIPadで作っていることがわかりました。やはり、時代が進むと新しいICT産業の技術も取り入れていかないといけないことがわかりました。その一方で昔の技術もまだまだ必要ということも今回のインタビューにより、分かりました。現在の建築士達は新しい技術と昔の技術を合わせてより仕事しやすい環境を選びながら、仕事をしているということをこのインタビューで伺うことができました。

必要な資格&宮寺さんについて

建築士に必要な資格

①二級建築士

二級建築士は試験合格率20%～25%と難関です。

②一級建築士

一級建築士は、高度な技術を要する建築物にたずさわれる。合格率は約1%と超難関。

宮寺さんについて

宮寺さんは葉山生まれ葉山育ちです。そして、宮寺さんは上で説明した資格のほかに環境コーディネーター、地震に関しての資格を持っていて、アシストホームを支えるすばらしい人です。

インタビューを終えて

私たちは有限会社アシストホームの宮寺逸雄先生の話を聞いて、家を一件建てるのにも色々な資格や技術などが必要なんだということを知りました。そして、家を建てることの大変さも知りました。今、私たちがあたり前のように住んでいる家もアシストホームさんやアシストホームさんのような工務店さんのおかげなんだと私たちは思いました。家を建てるときは天候や場所に左右されたり、大きなケガをしてしまうことなどもあると聞きました。家を建てるだけでも大変なのにお客さんの希望を聞いたり、提案をしたり家の設計までしてとてもすごいと思いました。

今回、宮寺先生から聞いた話を参考にし、私たちがこれから就く職業など将来のことを考えていこうと思いました。